

カリキュラム

機構施設名： 岡山職業能力開発促進センター

実施機関名： 学校法人産業能率大学

A. 生産管理	工程管理	生産計画と工程管理
---------	------	-----------

コースのねらい	多品種少量化や短納期化など、顧客の多様なニーズに適した生産計画の策定を目指して、工程管理に必要な視点、生産計画・統制への柔軟な取り組み方について理解し、自社の納期管理を見直していくためのポイントを習得する。
---------	---

指導内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
指導内容	1 工程管理の考え方	(1)生産システムと工程管理 工程管理の目的と、日々の生産活動における工程管理の役割を、業務内容に沿って説明するとともに、さまざまな生産方式に応じた工程管理の方法やポイントについてわかりやすく説明します。 (2)生産管理と効率管理 生産管理における効率化の評価項目Q(品質)、C(コスト)、D(納期・日程)の具体的な内容と、効率化の方法についてわかりやすく説明します。 【演習】 事例を用い、工程管理の問題と対応策についてグループワークで検討し、理解を深めます。	2.5
	2 生産計画の立案と作成手順	(1)生産計画の作り方と実現対策 工程管理を支える生産計画の基本的なプロセスについて順を追って説明するとともに、生産計画を実現するための手順計画、負荷計画、日程計画への展開の進め方と対策について丁寧に説明します。 (2)操業計画と負荷能力調整 操業度計画の設定の仕方や、負荷と生産能力のフレキシブルな調整方法など、そのポイントの具体的なやり方についてわかりやすく説明します。 (3)納期遅れの要因と対策 納期遅れの要因を、関係する生産活動の中から、具体的な事例を挙げて解説し、納期遅れの真因への対策やアプローチの方法を実務の中で活用できるように説明します。 【演習】 事例・演習を通じて納期遅延の要因と対策についてグループワークで検討し、実務的な対応力を研究します。 (4)多品種少量生産への対応 さまざまな生産形態や受注形態に適した、生産タイプ別の生産計画の策定ポイントや組立方の方法について、具体的にわかりやすく説明します。	3.5
合計時間			6.0

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
・特になし	・講師用PC(講師持参)
●テキスト	●その他
・産業能率大学作成オリジナルテキスト	・なし